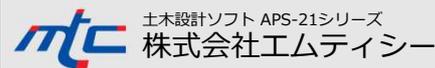


道路・鉄道線形計画システム

APS-MarkIV Win Ver11.5 ⇒ Ver12.0

線形システム

APS-RL Win Ver9.5 ⇒ Ver10.0



http://www.mtc-aps.co.jp

APS-MarkIV Win / APS-RL Win 追加機能

- 主要点リスト、成果出力、各種座標計算、各種応用計算の計算書をMicrosoft Excelへ直接転送する機能を追加しました。



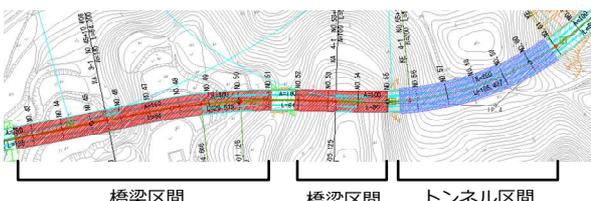
- 主要点計算（線形管理）の入力小数点以下桁数を8桁に変更できます。



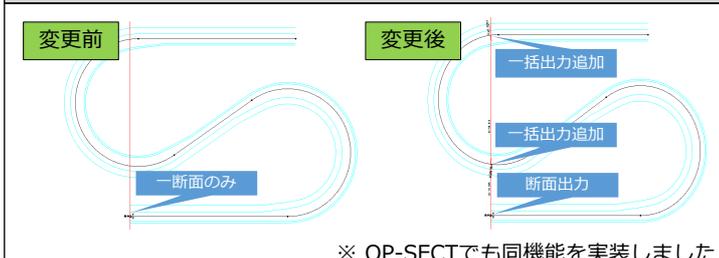
- 表マスタ登録で、線形図、縦断面図、横断面計算等に挿入する表題の罫線に斜め罫線を追加しました。
- 中杭計算の中杭名称生成機能で、記号と番号との間のピリオドの有無を設定できるようになりました。
- 成果出力、各種座標計算等で計算結果として表示するイメージ図の用紙サイズを設定できるようになりました。

OP-PLAN / APS-RL Win 追加機能

- 線形上に橋梁区間、トンネル区間を設定し、3D WiVeに簡易な構造物形状を表示できるようになりました。また、設置した構造物は走行シミュレータ (OP-ROAD) での表示、縦断面図 (OP-PROF) の旗上げ設定に使用できます。

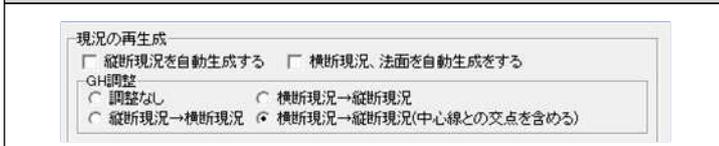


- 同一線形において複数の横断面がある場合、全ての横断面を図化するようになりました。

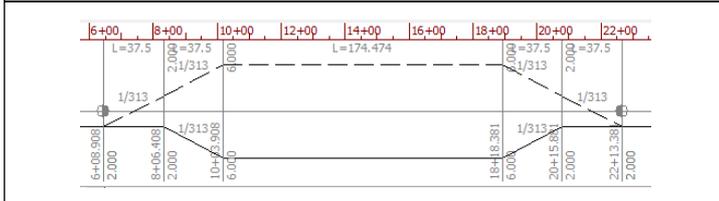


※ OP-SECTでも同機能を実装しました

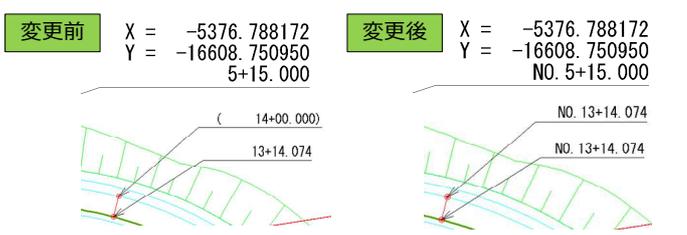
- システム共通設定に縦横断面現況線の再生成に関する設定を追加しました。



- 線形検討ウィンドウ下部の情報表示部に片勾配すりつけのすりつけ率の表示を追加しました。



- 検証ツールの座標旗上げ等の測点表記にNO./STAを含む設定を追加しました。
- 検証ツールの座標旗上げを用いて横幅幅員、平行線上の座標に旗上げたときの測点を対象要素の起点からの距離ではなく、測点 (CL) を表示できるようになりました。

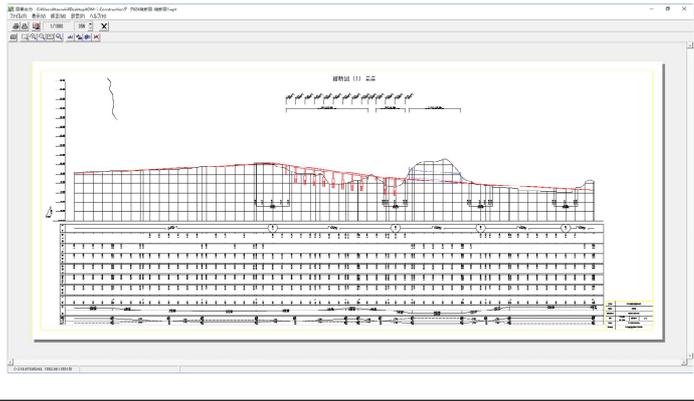


- 道路構造令の解説と運用 (H27.6) P.377 図3-49に対応しました。但し、バージョンアップ後も以前の計算結果が保持されますので、すりつけ条件を再確認して下さい。
- 円一円のS型背向区間で横断勾配0%の前後のすりつけ率が変化しないように計算するようになりました。

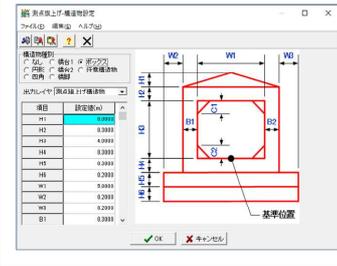


- 検証ツールの直線作成に「円円接線」「点円接線」「点要素垂線」を追加しました。
- 検証ツールでの作図時に選択した画層ごとに表示のON/OFFを選択できるようになりました。

- 区間旗上げ、測点旗上げにOP-PLAN/APS-RL Winで設定した橋梁・トンネル区間を引用できるようにしました。



- 測点旗上げに設定できる構造物にボックスカルバートを追加しました。



- ボックスカルバートの他に、円形、四角、橋台、橋脚、任意構造物の設定に対応しています。

- 平面曲率図のIP諸元へ出力する項目の設定を追加しました。
- IP名称、交角、曲線長（緩和区間含む・含まない）、外線長、接線長、SP測点、半径

項目	設定値	IP情報設定	使用できる特殊文字
Y=出力	出力する	初期化	
IP情報出力	出力する	IP: IP名称	IP: IP名称
要素出力方法	全要素を出力する	交角	交角
要素出力	半径を省略しない	曲線長(緩和区間を含む)	曲線長(緩和区間を含む)
スケール設定	従う	外線長	外線長
中心線出力	出力する	SP測点	SP測点
		半径	半径
		曲線長(緩和区間を含まない)	曲線長(緩和区間を含まない)

- 縦断面を開いた状態で、線形を変更した時に再読込を行うようにしました。
- 設定画面の縦断面イメージの表示範囲を設定できるようにしました。
- 標高目盛りに補助線の設定を追加しました。
- 縦断面勾配帯の勾配の標高を丸めてから再計算した勾配で出力する設定を追加しました。
- 図面（ページ）単位に表題の有無を設定できるようにしました。
- 旗上げ設定のテキストを一覧形式で入力できるようにしました。
- 始終点旗上げにテキスト7、8を追加しました。
- 帯に出力する文字の重なりでの自動回避処理を見直しました。
- 拡幅すりつけ図で中心シフトの出力設定および拡幅量を合計で出力する設定を追加しました。
- 曲率図で円区間の線形要素を出力しない設定を追加しました。
- 平面曲率図でスケールを考慮せずに出力する設定を追加しました。

OP-SECT 追加機能

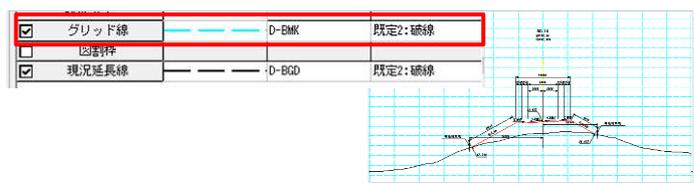
- 横断現況線の自動延長部分（横断現況線が足りないと水平に延長される部分）の出力を追加しました。



- 表示設定に「測点文字を省略」「寸法文字の位置を横断幅員寸法の上に固定」設定を追加しました。
- 表題の出力の有無を追加しました。
- 図面出力ウィンドウで図表の移動時に、移動された横断面を再作図するようにしました。
- 横断線と対象路線との交角が薄いと（10度以内）の場合、対象線形の横断面を出力せず、CLとFHのみとしました。

OP-ROAD 追加機能

- 横断面にグリッド線を出力できるようにしました。



- 作図条件に「路面高をFHのみとする」「中杭離れを中心線からの距離にする」設定を追加しました。

- OP-PLAN/APS-RL Winで設定した橋梁・トンネル区間の構造物形状を表示できるようにしました。



道路・鉄道線形計画システム「APS-MarkIV Win」 Ver11.5 ⇒ Ver12.0 バージョンアップ費用 120,000円（税抜き）
 線形システム「APS-RL Win」 Ver9.5 ⇒ Ver10.0 バージョンアップ費用 120,000円（税抜き）

※ 保守契約中のお客様は弊社ホームページより無償でダウンロードできます。 ※ 他バージョンからのバージョンアップをご希望のお客様は弊社までお問合せ下さい。

■ 製品に関するお問い合わせは

MTC 株式会社エムティシー

本社 TEL : 03-5396-0521 FAX : 03-5396-0525
 〒171-0014 東京都豊島区池袋2-51-14 飛翔ビル 5F
 中部営業所 TEL : 0569-26-5661 FAX : 0569-26-5671
 〒475-0922 愛知県半田市昭和町1-35
 大阪営業所 TEL : 06-6396-8266 FAX : 06-6396-8267
 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原1-2-5-501
 福岡営業所 TEL : 092-629-0850 FAX : 092-629-0851
 〒812-0002 福岡県福岡市博多区空港前3-16-4-303

URL : <http://www.mtc-aps.co.jp> E-mail : sale@mtc-aps.co.jp

※ Windows, Excel は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
 ※ DXFは、米国Autodesk Inc.の公開データフォーマットです。
 ※ 本カタログ記載の仕様・価格につきましては、予告なく変更させていただくことがあります。